

オープンイノベーション浜松創出支援事業

産業用ロボット業界参入 ワークショップ

産業用ロボット業界は、需要の伸びが確実視されており、新規参入のビジネスチャンスが十分あると考えられます。

そこで、業界のニーズや要素技術のシーズについて学び、どのような開発テーマがあるのか、

ニーズに対してどのように取り組んでいけるかなどについて小集団で議論を深め、

熱意のある企業同士による共同体構築を目指します。

共同体を構築することで、AI・IoT・精密加工・軽量化・防振・メカトロ・システムインテグレータ(SIer)など、

各社の得意とする技術を組み合わせ、先駆的な産業用ロボットやその周辺装置(搬送機・供給機・ピッキングツール)などの優れた新製品の開発を目標にします。

<ワークショップの内容>

産業用ロボット業界のニーズ・シーズ収集
グループワーク:開発テーマ議論・探索

共同体構築

研究開発
新製品開発

日程 / 2017年9月8日～10月27日 13:15～17:30

全4回

1回目 9月8日(金) 「いま、産業用ロボットに何が求められているのか」

- 中小企業におけるロボットビジネス
- SIer視点での産業用ロボット ～マテハンからSIerへ～
- 中小企業がロボットを使いこなすためには
- 参加企業自己紹介

2回目 9月29日(金) 「医療業界でのロボットのニーズとモーター・インバータに関するシーズ」

- 産業用ロボットから医療用ロボットへの展開
- 社会に役立つロボット
- グループワーク

3回目 10月13日(金) 「食品業界でのロボットのニーズとマニピュレーションに関するシーズ」

- 食品業界向けロボット動向とニーズ
- マニピュレーションの現状とこれから
- グループワーク

4回目 10月27日(金) 「物流業界でのロボットのニーズとセンシングに関するシーズ」

- 物流業界向けロボット動向とニーズ
- 力触覚センサを用いたロボットとIoT
- グループワーク

● 会場 / (公財)浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室(浜松商工会議所会館8階)(予定) ● 定員 / 20名

● 対象 / 産業用ロボット業界に参入を目指す企業 ● 参加費 / 20,000円(税込) ※浜松市内の企業は10,000円(税込)

主催

公益財団法人
浜松地域イノベーション推進機構
Hamamatsu Agency for Innovation

浜松市

後援

浜松商工会議所
The Hamamatsu Chamber of Commerce & Industry

講師プロフィール

伊藤 デイビッド 拓史 氏 (RobiZyプロジェクト事務局長 / 合同会社ビジネス実践研究所 代表社員)

一橋大学大学院商学研究科(一橋MBA)卒。富士通株式会社、富士通インド(Fujitsu India Limited)でITシステムの国内/国際案件に従事。富士通総研、デロイトトーマツコンサルティングファームにてITアドバイザーとして活躍。多くのロボット導入・開発プロジェクト案件を手掛ける。

第1回

名倉 慎太郎 氏 (株式会社日本設計工業 代表取締役)

エンジニアリング専門三社の一社である東洋エンジニアリング株式会社を経て、2002年に株式会社日本設計工業入社、2014年より代表取締役。マテハンシステムメーカーとして各業界に搬送装置を提供。近年は労働力不足の切り札ともいえる協働型ロボットのインテグレーションに注力している。

荒木 弥 氏 (アラキエンジニアリング 代表)

浜松市の楽器製造会社に入社後、仕上げ作業の自動化に特化した産業用ロボットの開発業務に従事。構想～仕様決め～見積り～設計～納入～サービスまで、幅広い知識・経験と技術のなかで、ロボットシステムエンジニアリング業務に取り組む。2013年6月にアラキエンジニアリングを設立。産業用ロボット技術支援・仕上げ加工コンサルティングを行っている。

第2回

田中 博文 氏 (株式会社メディカロイド 常務取締役 / 川崎重工業株式会社 ロボットビジネスセンター 医療ロボット部門担当理事)

1982年川崎重工業のロボット部門に入社以来2013年まで、自動車業界向けを中心にロボットを現場導入するためのロボットシステム設計に従事。2013年川崎重工業と医療機器のシスメックスの合併で設立したメディカロイドで、病院内で使用される診断・治療領域での医療用ロボットの開発に従事。

高橋 久 氏 (静岡理科大学 大学院理工学研究科および理工学部電気電子工学科 教授)

電子回路工学や制御工学を専門とし、現在は電子回路とMPUを用いたアクチュエータのセンサレス制御に興味。これから需要が急増するサービスロボットは多くのモータが使用され、それぞれのモータが細密に制御されるため、可能な限りセンサを使用せず、人に対して安全なロボットシステムの構築を研究中。

第3回

飯野 誠 氏 (ファナック株式会社 ロボット事業本部 ロボット国内セールス本部 ロボット国内西部セールス部 名古屋一般産業二課) ※予定

2005年ファナック株式会社入社。社内外のロボットシステム立上げを担当する部署に配属。2006年ロボットを販売する部署へ異動。現在は一般産業(自動車部品、食品、医療その他メーカー)を中心に東海北陸地方にて営業活動中。

音田 弘 氏 (国立研究開発法人産業技術総合研究所 知能システム研究部門 主任研究員)

東京大学大学院工学系研究科修士課程修了、通産省工業技術院電子技術総合研究所を経て現職。博士(工学)東京大学情報工学。研究テーマは知能ロボットの教示・計画・スキルトランスファー、柔軟物のマニピュレーション、ロボットのための環境構造化。1992年計測自動制御学会論文賞、2010年ファナック財団論文賞受賞。

第4回

菊田 一郎 氏 (株式会社流通研究社 代表取締役社長)

1982年名古屋大学経済学部卒業、1983年に流通研究社入社。1990年より現在まで月刊「マテリアルフロー」(当時「無人化技術」)編集長、2011年より専務取締役。2017年7月より現職。2015年に流通研究社が設立した一般社団法人 日本マテリアルフロー研究センター(JMFI)設立時代代表理事となり、2016年より常務理事。

三好 孝典 氏 (国立大学法人豊橋技術科学大学 機械工学系 准教授)

1989年ローランド ディー・ジー・株式会社入社。2000年同社3Dプロジェクト部プロジェクトマネージャ、2002年同社を退職し豊橋技術科学大学生産システム工学系講師として赴任。ミュンヘン工科大学客員研究員等を経て現在に至る。制御工学・ロボット工学を専門とする。博士(工学)。

参加申込書 産業用ロボット業界参入ワークショップ

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 事業推進部 企業支援グループ 担当 / 清水・西野

浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館8階

TEL: 053-489-8111 FAX: 053-450-2100 E-mail: gijyutsu@hai.or.jp

◎申し込み方法 / 参加希望の方は下記必要事項をご記入いただき、9月1日(金)までにFAXまたはE-mailで申込ください。
受講料については、当財団より請求書をお送りさせていただきますので、9月6日(水)までに指定口座へお振込みください。

会社	会社名		参加者	氏名	
	所在地	〒 _____		所属・役職	
		浜松市内に本社、製造拠点の主たる事業所がある。 ある <input type="checkbox"/> / なし <input type="checkbox"/> (※必ずチェックしてください。)		E-mail	
	TEL			FAX	

個人情報保護に関する注意事項

申込書に記載された個人情報は主催者・共催者で適切に管理し、本セミナーの管理運営のほか、各種情報提供のために使用させていただきます。